

生活協同組合コープおおいた  
役員室広報課

〒870-0278 大分県大分市青崎1丁目9番35号  
TEL.097-524-0119 FAX.097-524-0129  
<https://www.oita.coop>



# CO-OP OITA REPORT 2021

コープおおいたレポート



# 『安全・安心、豊かな暮らし』 ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

組合員のくらしや地域社会でうまれた課題解決に向け、  
事業と活動をととして社会的な取り組みを推進しています。  
人と人の結びつきを大切にし、地域のくらしを支え、  
コープおおいたのある街に住んでよかったと  
思ってもらえるような存在でありたいと願っています。

## CO・OP = Co-operative

生協はよりよいくらしを願う消費者一人ひとりが  
組合員となって参加し、出資、利用、運営する協同の組織です。  
営利を目的とせず事業を行う、自主的な消費者団体です。

### コープおおいたレポート2021 編集方針

コープおおいたは事業と活動をととして、地域のくらしと社会をよりよくするためにCSR活動(企業の社会的責任)に取り組んでいます。コープおおいたレポート2021では、「コープおおいた2030年ビジョン」を指針とし、SDGs(持続可能な開発目標)との関連性をともに伝え、主な取り組みを抜粋してご報告いたします。

対象期間:2020年4月~2021年3月



### 表紙イラスト

表紙は、大分県在住の絵本作家「ザ・キャビンカンパニー」による「SDGs」と「コープおおいた2030年ビジョン」をイメージしたオリジナル作品です。

### 組織概要

(2021年3月31日時点)

創立 / 1952年(昭和27年)12月  
代表者 / 代表理事 理事長 青木博範  
組合員数 / 17万8,168世帯  
(世帯加入率35.9%)  
出資金 / 65.39億円  
総事業高 / 196.4億円  
供給高 / 宅配116.4億円  
店舗78.1億円  
福祉事業収入 / 1.8億円  
従業員数 / 230名(正規職員)  
545名(定時職員)

本部所在地 / 大分県大分市青崎1丁目9番35号  
事業エリア / 大分県全域  
グループ会社 / (有)ヒューマック大分  
(株)コープハウジング大分  
(株)コープサービスおおいた  
(株)コープキッズおおいた  
(株)ハートコープおおいた  
(株)夢ファームおおいた



### CONTENTS

基本理念 P2  
トップメッセージ P4  
事業案内 P6  
コープおおいた2030年ビジョン P8

### 特集

特集1 備え合い、支え合う災害支援  
令和2年7月豪雨 P12  
特集2 地元で作って地元で食べよう  
コープおおいたの『産直みかん』生産者  
国東市安岐町 古庄農園 P16

特集3 サービス付き高齢者向け住宅  
「彩(いろどり)臼杵」 P18  
特集4 「新しい生活様式」の中で  
心のつながりを P20

トピックス P22  
環境 P24  
リサイクル活動 P25  
コープおおいたと地域の歩み P26



みんなのくらしに  
満足を！  
ここであらう、  
コープがある。



私たちは、コープおおいたの将来像を描いた「2030年ビジョン」を策定しました。そのテーマが「みんなのくらしに満足を！ここであらう、コープがある。」です。

組合員の満足度はもとより、地域社会への貢献度、そして従業員満足度の向上を掲げ、この取り組みを支える経営基盤の向上を目的としています。

2030年ビジョンは「コープSDGs行動宣言」とも連動しています。SDGsの目標は「誰一人取り残さない、誰もが安心してくらし続けられる地域社会」の実現です。2030年ビジョンの実現をとおして、大分県民のくらしの満足に寄与していきます。

私たちは、県内の各自治体と「包括連携協定」の締結をすすめています。また、関係諸団体とも連携しながら、地域が抱えるさまざまな課題の解決に取り組んでいます。

例えば、大規模災害時における復旧・復興支援に役立つよう、NPO法人に職員を出向させています。有事の際にいち早く被災地に駆けつける「災害支援先発隊<sup>コドラ</sup>(CODRA)」を発足させ、防災・減災の訓練や災害支援、ボランティアセンターの運営訓練を重ねて

います。

昨年初めて「サービス付き高齢者向け住宅」を開設し、これまでの福祉・介護事業に加えた、新たな高齢者支援に取り組んでいます。

貧困や格差の拡大、孤立・孤独化が広がる中、今年は、子どもや生活困窮者の支援に向けて、「フードバンク」や「子ども食堂・おとな食堂」を活動拠点とする居場所づくりを研究しています。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、生産者や取引先のみなさまをはじめ、消費者のくらしはますます厳しくなっています。

このような状況だからこそ、県下17.8万世帯が加入している生協として、少しでもみなさまのお役に立てるよう、これまで以上に取り組んでいきます。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

生活協同組合コープおおいた  
代表理事 理事長 青木 博範

地域のみなさまに  
寄りそい  
頼りにされる存在に



平素より、コープおおいたの事業や活動に対して、ご理解・ご協力をいただいていることにあらためて感謝申し上げます。日頃よりご支援くださっている多くの関係者のみなさまのおかげで、県下17.8万世帯（組織率35.9%）の組合員を組織する消費者団体になりました。組合員の声≡県内の声として受け止められるまでになり、発信される生活者の声を受け止め、大切に生かしていくことが私たちの使命にもなっています。

さて、新型コロナウイルスの感染に脅かされる環境も丸1年経過しましたが、むしろ深刻化し、終息が見通せない状況になっています。制約の多い中でも、生協の提供する商品やサービスが多くの組合員に役立っている実感があります。今まで以上にくらしに寄りそい、身近に感じていただける存在になる必要があると感じています。

「2030年ビジョン」が採択され1年が経過しました。私たちは「みんなのくらしに満足を！ここであらう、コープがある。」という将来像を目指しています。コロナ禍での不自由な生活の中で、利用者の裾野が一気に広がり飛躍的に需要が拡大した1年となりました。提供

する事業やサービスの深さという面では新しく「サービス付き高齢者向け住宅」を開設し、24時間365日入居者に寄りそうノウハウの蓄積が始まりました。また、3園目の認可保育園を開園できました。今後は、現在の事業・活動を発展させていくだけではなく、子育て世代や福祉分野に向けた新しい領域や、生活困窮者支援の領域でも生協らしい活動を研究していくことにしています。

組合員のくらしに寄りそう≡県民のくらしに寄りそうという、頼りにされる組織づくりに取り組んでいきたいと考えています。これまで以上に、多くのご支援をいただきながら、事業活動の成長と社会貢献の充実を図り、「なくてはならない存在」に向けて歩をすすめていきますので、引き続き、今後ともよろしくお願いいたします。

生活協同組合コープおおいた  
代表理事 専務理事 江藤 隆康



# Services

事業案内

宅配

Delivery

山間部や離島を含む大分県内全域で、個人配達・共同購入・法人配達を展開しています。徹底した品温・品質管理のもと、注文商品をご家庭にお届けしています。毎日の配送をとおして、地域や高齢者の見守り活動も担っています。



店舗

Store

コープ商品をはじめ、産直野菜や生鮮食品など、「より良いものをより安く」をキーワードに地域のニーズに合わせた品ぞろえを展開しています。資源回収やプラスチック製品の削減など、環境に配慮したお店づくりを推進しています。



## グループ会社

株式会社  
コープサービスおおいた

コープおおいたの宅配業務受託、弁当宅配、介護食、宅配水、その他請負事業

配送の様子▶



コープハウジング大分

コープ自由設計の家屋新築、外壁塗装や水まわりなどの住宅総合リフォーム

水まわり相談会▶



有限会社  
ヒューマック大分

各種保険取り扱い、プレイガイドやドローン航空学校の運営など

ドローンのスクール▶



コープキッズおおいた

保育園や放課後児童クラブなどの児童福祉施設の運営、行政・各団体と連携した子育て支援

発表会▶



ハートコープおおいた

就労継続支援A型事業所の運営や作業受託などの障がい者福祉事業

菌床しいたけの収穫体験▶



夢ファームおおいた

農産青果物の生産・流通・販売、新規就農支援、地産地消の推進

食育・体験農場▶



Life service  
生活サービス



高齢者施設の運営や、お買い物弱者支援の移動店舗販売、店舗への無料送迎車両など地域のくらしを支援するさまざまな事業を展開しています。

福祉事業

移動店舗販売事業

お買い物サポートカー事業

共済事業

スマイルさぼーと事業





# 2030 ViSiON

コープおいた2030年ビジョン

## みんなの暮らしに満足を！

～ここです、コープがある。～

2030年の自分を、家族を、大分を、そして世界を想像しながら、  
毎日の暮らしが今より満足であるように。  
その笑顔のそばに、いつもコープおいたがあるように。



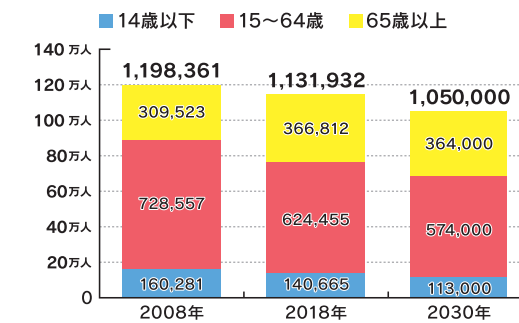
### ビジョン策定で大切にしたい5つのこと

- 1 少子化・高齢化など、人口構造の変化から事業と活動を創造すること。
- 2 規模の拡大よりも質の向上、基礎をしっかりとつくること。
- 3 やりがいと働きがいを持てる生協にしていこう。
- 4 事業・組織規模に見合った、社会的責任を果たしていこう。
- 5 地域社会の生活基盤を担っている自負を持つこと。

## 10年後の大分県の姿

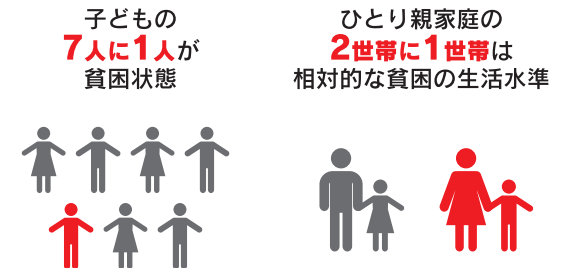
人々や地域、社会とずっと深く関わりながら、事業やサービスを磨き続けることで、今よりもっと豊かで幸せな、大分の暮らしにつなげていきます。

### ●人口減少・高齢化



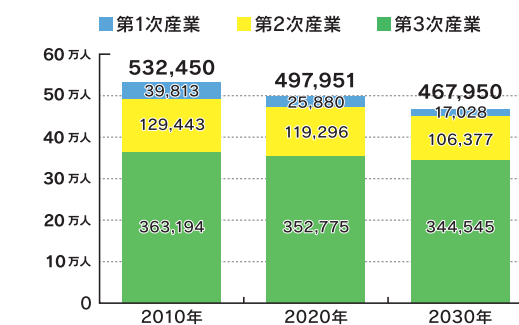
参考：大分県「大分県の人口推計報告」

### ●格差の拡大



参考：2018年厚生労働省

### ●産業別就業者数



参考：大分県「中長期県勢シミュレーション」

### ●デジタルイノベーションの加速

会社や地域社会、産業全体のデジタル化の進展のことです。お買い物や旅行がインターネットを介したバーチャル世界で完結できる時代が到来するかもしれません。

### ●消費・空間・時間のシェアリング・エコノミー

ヒト・モノ・場所・乗り物・お金など、個人が所有する活用可能な資産を、インターネットを介して個人間で貸し借りや交換することで成り立つ経済の仕組みのことです。

## コープSDGs行動宣言

2015年、国連で持続可能な開発目標（SDGs）が採択されました。コープおいたも世界中の人々とともにSDGsの実現に貢献することを約束し、全国の生協と一緒に「コープSDGs行動宣言」を掲げています。

12 つくる責任  
つかう責任

商品とくらしのあり方を見直します

11 住み続けられるまちづくりを

地域社会づくりに参加します

13 気候変動に具体的な対策を

再生可能エネルギーを利用・普及します

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

再生可能エネルギーを利用・普及します

16 平和と公正をすべての人に

核廃絶・世界平和の実現をめざします

3 すべての人に健康と福祉を

福祉事業・助け合い活動をすすめます

1 貧困をなくそう

子どもたちを支援する活動をすすめます

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

多様な人々が共生できる社会をめざします

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

こちらをご覧ください。



# 10年後のありたい姿

生協は協同の心を大切に、社会問題の解決や公平な社会システムの実現のために活動しつづけてきました。今までもこれからも、地域でくらすみんなが満足し、笑顔あふれる社会を実現していきます。人と人のつながりを大切に、誰一人取り残さない持続可能な地域社会を見据え、コープおおいた2030年ビジョンを掲げます。私たち“みんな”の新たな10年間がはじまっています。

## Mission 地域社会貢献

### 人とつながる、 地域とつながるコープ



「コープSDGs行動宣言」に沿った取り組みをとおして、コープおおいたらしい地域社会貢献を



大分県内すべての市町村と「包括連携協定」を締結し、地域の課題をパートナーシップで解決しよう



大分県民みんながコープおおいたとその商品・サービス・活動を知っていて、いつでも頼られるコープへ

## Mission 組合員満足

### くらしに役立ち、 寄りそい、支え合うコープ



多様化する地域の不安を解消し、期待と要望に応えられる「安全」「安心」「満足」な商品とサービスを



時代やくらしの変化に応じたコープ、地域の声をクイックに適正に反映できるコープへ



事業やサービス、組合員活動をとおして、世代や地域を超えて場と時間の共有を

## ? なぜビジョンが必要なの?

コープおおいたが2030年までの10年間、「どこに向かって」頑張るかを明らかにするためにビジョンを策定し、「何のために」頑張るかを明らかにするために4つのミッションを掲げました。

コープを利用する組合員や地域のみんなの豊かなくらしのため、コープで働くみんなの幸せと誇りのため、コープが地域社会に役立ち、大分の元気をサポートするため、私たちのビジョンをさまざまな場所で伝えていきます。

## Mission 従業員満足

### 自信と誇りを持って、 安心して働きつづけられるコープ



ボランティアや地域活動をとおして、地域の元気に寄与できる環境と機会を



人を大切に、人が育ち育てる組織風土を



みんなの挑戦を応援する組織と、自ら行動し意欲ある従業員に



人生設計に寄りそいながら、誰もが自分らしく活躍できる環境を

## Mission 事業経営

### みんなが安心して、 確かな将来設計ができるコープ



ビジョンを実現していく活動財源として、安定した事業経営基盤を



組織率  
50%



地域生活の基盤となる事業やサービスを展開し、地域になくてはならない存在へ



2030  
ViSiON

「コープおおいた2030年ビジョン」ではより詳細な行動目標などの情報を紹介しています。

コープおおいた2030年ビジョン <https://www.oita.coop/2030vision/>







Feature1  
Mission  
地域社会貢献  
Mission  
従業員満足

## 備え合い、 支え合う災害支援 令和2年7月豪雨



令和2年7月豪雨災害で被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。令和2年7月3日から7月31日にかけて、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨。大分県内各地でも洪水や土砂災害による甚大な被害が発生しました。被災地域の日も早い復旧と、被災された方々が一日も早く平常の生活に戻

ることができるよう、コープおおいたの従業員がボランティア活動として被災地での作業や、災害復旧活動の運営、炊き出しなどを行いました。

全国の生協からも支援物資や支援金、励ましのお言葉などたすけあいの心が届きました。多くの方のご協力に感謝し、あたたかい支援の輪を広げていきます。

### 人的支援

7月27日から8月12日にかけて、被災地へ作業、運営、炊き出し支援として、コープおおいたの従業員のべ**102名**がボランティア活動に参加しました。

### ■作業

浸水した地域のライフラインや住居などの復旧のために、従業員が被災地へ行き、泥だしやがれきの撤去作業を行いました。



日田市天ヶ瀬地区

ライフラインの復旧に欠かすことのできない側溝の泥だし作業を行う。



九重町右田地区

床下に潜り込んで泥だし作業を行う。泥の吸収や床下の水とり古タオルが活躍した。



九重町右田地区

撤去した川の土砂がスタッフの背と同じ高さまで堆積している。



日田市天ヶ瀬地区

災害ゴミには割れたガラスや釘なども混じっている。分別しつつ作業を行った。

### ■炊き出し

従業員だけでなく地域の組合員にも参加いただき、避難所等での炊き出しを行いました。



日田市中津江地区

大分の郷土料理「鶏めし」と「豚汁」を調理。新型コロナウイルス感染予防対策も兼ねて、お一人分ずつパック詰めて世帯ごとに配布。



日田市天ヶ瀬地区

日田市在住の組合員10名と一緒に、「お味噌汁」と「赤魚のみぞれ煮」昼・夜120食ずつ炊き出しを実施。



日田市津江避難所

夜40食分の炊き出しを実施。



日田市中津江村防災復興交流会

100食分の「鶏めし」と「豚汁」の炊き出しを実施。



あまがせ交流会

日田市在住の組合員と一緒に200食分の「おでん」と飲み物を提供。

### ■運営

災害ボランティアセンターの運営に従業員が参加し、被災地での災害復旧活動を支援しました。



天ヶ瀬VC

ボランティア活動要請書のデータ入力を行う。



天ヶ瀬VC

支援物資の仕分け作業に参加。

※VC…ボランティアセンター



## 物資支援

全国の生協からもたすけあいの心が届き、被災地へお届けしました。

### ■コープおおいたから

7月11日から、支援物資として被災地域へコープ商品をお届けしました。

#### 天ヶ瀬VCへ

・飲料水1,000本  
・マスク1,000枚



#### 九重VCへ

・麦茶、炭酸水  
各10ケース  
合計480本



#### NPO法人 リエラへ

・電子レンジにも強いラップ  
160本



### ■いただいた物資

全国のコープや取引先企業より、たすけあいの心が届き、各所へお届けしました。



コープこうべから天ヶ瀬VCへ  
・段ボール7箱分の古タオル



株式会社クラブコスメテックスからNPO法人リエラへ  
・コープ化粧品各種（乳液やトライアルキットなど4種類）



※コープおおいたも一緒に  
生活必需品をお届けしました。



コープおきなわから九重町社協へ  
・マスク3,000枚



コープふくしまから中津江へ  
・手作りマスク  
・ティッシュケース  
・マスクケース 合計約130枚



コープみらいからNPO法人リエラへ  
・ねぎ味噌煎餅  
・さいたま市銘菓 合計150人分

## 支援金

大分の組合員と寄りそい、各県のみなさんと支え合い、災害支援に役立てます。



#### JAふくしま未来より

JAふくしま未来とコープ  
おおいたは「東日本大震災」をきっかけに交流が始まり、エフコープと共に  
友好協力協定を締結しています。豪雨災害支援金  
をお預かりしました。



広瀬勝貞大分県知事へ贈呈 796万2,627円



日田市社協へ 100万円  
コープおおいた拠出金とJAふくしま未来よりお預かりした支援金を合わせ  
てお贈りました。



九重町社協へ 20万円  
※社協…社会福祉協議会

・コープおおいた組合員より 783万3,006円  
7月17日から9月5日の期間で、宅配での注文と店  
頭にて実施。

・福島県飯館村の有志の方 12万9,621円  
東日本大震災以降、旧福島市松川工業団地第二仮  
設住宅での定期的な炊き出しやサロン活動をとし  
て交流を深めてきました。

## 災害支援先発隊を新設

2020年11月、コープおおいたの災害支援活動の指揮を  
とる災害支援先発隊(CODRA)を新設しました。計36名5  
グループで編成され、有事の際にいち早く被災地へ駆けつ  
けます。

被災状況や自治体の対応状況などを踏まえ、どんな支援  
がどのくらい・どれくらいの期間必要なのか等を迅速に判断  
して、コープおおいたの支援活動につなげることを目的とし  
ています。

コープおおいた災害支援先発隊  
**CODRA**  
コ ド ラ

Coop ..... コープ  
Oita ..... おおいた  
Disaster ..... 災害  
Recovery ..... 復興  
Assistance ..... 支援

## 災害支援研修の実施

災害支援先発隊(CODRA)は、ボランティアセンター運営に関する実技研修や防災・減災に関する学習を重ねていきます。



Feature1 備え合い、支え合う災害支援  
令和2年7月豪雨

## NPO法人リエラへ出向

コープおおいたは持続可能な災害支援、被災者支援活動  
を展開していくため、有事に備えて、人材育成とネットワー  
クづくりをコープおおいたの災害支援方針として策定しました。

コロナ禍における「令和2年7月豪雨」の発災により、これ  
までにないほど錯綜する情報と感染症対策を伴う支援活動  
の困難さに直面しました。

被災者の状況は、それぞれ実情が違い、支援活動は画一  
的ではなく、その実情に沿った柔軟性が求められます。その  
ためには、被災者の声を拾い、吸い上げていく平時からの交  
流と、有事の際は迅速に状況判断し、組織全体に指示を伝え  
るノウハウが大切になると考え、災害支援に特化し、最前線  
で活躍しているNPO法人リエラへ2021年3月から半年間、  
職員の研修派遣の受け入れをお願いしました。

帰任後は、学んだ知識や経験を災害支援先発隊(CODRA)  
へひろげ、コープ全体の支援活動をリードする存在として従  
事します。



原田啓介日田市長へ研修派遣開始をご報告しました。





## 地元で作って地元で食べよう

コープおおいたの『産直みかん』生産者

こ しょう  
国東市安岐町 古庄農園



## 太陽の光をたっぷり浴びて おいしく育つ産直みかん

『産直みかん』生産者のひとつ、国東市安岐町『古庄農園』。

古松地区のみかん畑は、今から60年以上前に先代たちによって開墾されました。南向きの山の急傾斜地を生かした栽培方法が特徴で、太陽の光が日没までたっぷりと降り注ぐため、甘くておいしいみかんが育ちます。

『古庄農園』のみかん畑は2ヘクタールの急傾斜地に広がり、高低差のある畑を軽トラックで移動しています。収穫時など人手が必要なときはパートさんを雇っていますが、通常は古庄さんおひとりで作業をしています。

急傾斜地はみかんの成長に適していますが、栽培する人たちの重労働は避けられません。そんな傾斜地で少しでも



一つひとつ手作業で積み上げて造られた石棚は、先代たちの知恵と努力の結晶。



『古庄農園』の古庄正信さん

作業しやすいようにと、先代たちが手作業で石を積み上げ、階段状の石棚を造っていました。これにより、作業しやすくなるのはもちろん、斜面から土や養分が流れ落ちるのを防ぐこともできるのです。

『古庄農園』とコープおおいたとの出会いは、2015年。産直みかんの新たな生産者を探していたコープおおいたが、大分市の市場関係者に「良質なみかんを一定量出荷できる生産者」として『古庄農園』を紹介してもらったのがきっかけ

でした。

そして2015年秋のコープおおいたのギフト商品から取り扱いがはじまり、2017年7月に産直認証を受けて、カタログや店舗での取り扱いがはじまりました。

「組合員さんの反響が注文数でダイレクトに分かるので、やりがいを感じています。たくさん注文が入ると、やはりうれしいですね」と古庄さん。『古庄農園』の『産直みかん』、ぜひご賞味ください！

### TOPICS

#### コープおおいたの「産直」とは

単なる産地直送ではなく、つくる人と食べる人がしっかりとつながっている「産地直結」です。

##### 産直3原則

- ①生産者・産地が明らかであること
- ②栽培・肥育方法（農薬・肥料・飼料など）が明確であること
- ③生産者と組合員が交流できること

##### 産直マーク

野菜・果物・米については、大分県の定めた「作物栽培慣行レベル基準」に対してどれだけ農薬を削減して生産されているかを★の数でお知らせしています。







3階建て、全39戸。お部屋は広さや設備の異なる4タイプ。



## サービス付き高齢者向け住宅 「彩(いろどり)白杵」



### 組合員がいつまでも、自分らしく暮らせる場所を、 コープと地域で、共につくる。

「コープで、いつまでも安心して自分らしく暮らせる場所があったら」。そんな組合員の声から、2020年8月にサービス付き高齢者向け住宅「彩(いろどり)白杵」が開所しました。

「共に歩み 想いをカタチに」を理念に、ご利用者、ご家族、職員、地域の方が共に寄りそいながら、自分らしいさまざまな想いをカタチにできるお手伝いをします。

「彩(いろどり)白杵」では、「安否確認」と「生活相談」などを専門スタッフが支援します。お部屋の中には、緊急時にスタッフが駆けつけるナースコールや、車いす対応の手洗い・洗面所、入浴介助に対応した共有入浴施設も完備しています。

また、コープの宅配や「彩(いろどり)白杵」からコープうすき

までを送迎するお買い物サポートカーを活用していただくなど、日々の生活もサポートいたします。



食堂談話室

### ケア専門家の常駐、温かい食事がある中での安心した暮らし



「彩(いろどり)白杵」にお住まいになっても、外泊や外出、友人の訪問など、これまでと同じように生活を楽しむことができます。



併設しているデイサービスセンターにじいろ2号館には、地域の出会いの場として、ヒノキ張りの床で心も体もリラックスできる地域交流室があります。



食事はコープの食材を使い、管理栄養士による栄養バランスに配慮した温かいメニューを提供いたします。





## イベント

### 「新しい生活様式」でのイベントを企画

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントや講演をオンライン会議システム「Zoom」を利用して開催しました。また、毎年好評のイベントは、オンラインバージョンに変更し、感染症対策を講じた形式に見直し開催。組合員との心のつながりをつくる、さまざまな取り組みを実施しました。



オンラインでのリクルート活動の様子

### ■オンラインイベント



#### 食育講座

手軽に楽しく料理をする「クッキーづくり」や、九重の新米と稲穂を事前にご自宅に送付して、お米ができるまでについて学ぶ「九重の新米を味わおう」などを開催しました。



#### 防災講座

緊急時の避難方法のほか、非常時の持ち物についてや、対策などを学び、防災意識を高めてもらうことを目的として開催しました。



#### うちdeクリスマスパーティー

毎年大好評の「親子deクリスマスパーティー」をオンラインバージョンで開催。パネルシアターやマジックシアターなどをみなさまのご自宅へお届けしました。

### ■感染症対策に配慮したイベント



ドライブスルーxコアノンロール交換会  
環境活動をもっと身近に、気軽に楽しんで参加していただくために、各地で開催している牛乳パックとコアノンロールの交換会。車から降りることなく、よりスムーズにドライブスルーで実施しました。



#### ウォークラリー

コース図を頼りに、途中で出題されるクイズを解きながら歩き、ゴールを目指します。三密を避け、楽しみながら、組合員の健康づくり支援ができる企画づくりなどに、積極的に取り組んでいます。

### ■ステイホーム企画



#### 平和活動

戦後75年を迎えた2020年、「安全・安心、豊かな暮らし」の根幹となる「平和」について自宅でじっくり考えていただけるよう、平和の尊さを次世代へ伝える動画を作成しました。



#### エリアイベント

川柳・クイズ・応募企画など、うち時間をとお楽しみいただけるイベントを、各コープエリアで実施しました。



#### 絵本の紹介

読み聞かせグループ「オーマッシュ♥」のおすすめの絵本を、コープおいたのInstagramで紹介しています。

## Feature4 Mission 組合員満足

# 「新しい生活様式」の中で 心のつながりを



新型コロナウイルス感染症に罹患された方々およびご家族、関係者のみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

日本中で、新型コロナウイルス感染予防を想定した「新しい生活様式」が取り組まれています。

コープおいたの事業においても、従業員の検温、マスク

着用や、パーティションの設置、施設内の消毒、換気などを実施しています。また、コープを必要としている多くの方へ、事業やサービスを提供できるよう、事業内容の見直しや、新しい働き方の実践に挑戦し続けています。

## 店舗 惣菜バイキング

コープのお店でも人気のある惣菜バイキングは、外気を遮断するケースのないバイキング形式から、ひとつずつパック詰めをして安全に提供できる形式に変更しました。



## 宅配 非対面で完結できる対応の強化

安心して宅配サービスをご利用いただけるよう、非対面でお申し込みが完結するWEB加入や、商品お届け時の非対面での受け取りなどへの対応を強化しました。







## はじめてばこを贈ります

「はじめてばこ」は、これからたくさんの「はじめて」に出会う赤ちゃん、ママ、パパを応援するため、特製の「童謡カード」やさまざまな企業からのプレゼントを詰め合わせた、たて33cm×よこ33cm×高さ19cmの大きくて丈夫なお祝いの箱です。大分限定デザインで、たくさんの「おめでとう」と「生まれてきてくれてありがとう」の気持ちをこめて、コープおおいたが各ご家庭まで大切にお届けしています。箱の中のプレゼントは、時期や協賛企業によって入れ替わ



ります。コープおおいたでは、地域社会貢献と子育て支援の取り組みとして、プレゼントの提供はもちろん、箱詰め作業と各ご家庭への配送を担当しています。箱詰め作業は、(株)ハートコープおおいた青崎事業所(就労継続支援A型事業所)が担い、働きがいとやりがいの創出へとつながっています。

2020年度の「はじめてばこ」お申し込み件数 4,731件



## フードドライブ



店舗のサービスカウンターや宅配の配送担当者をおとして、フードドライブに取り組んでいます。寄付された食品などはフードバンクおおいたを通じて、子ども食堂や福祉施設などに無償で提供されています。

2020年度に寄付していただいた食品総量品4,217点(2043kg)



## 体験農場



豊後大野市清川町では農場体験を開催しています。草むしりや種まきなどの畑の準備から収穫までを体験し、食べ物がどのようにして育てられ、家庭に届け、調理され食卓に並ぶのかを、子どもたちと学んでいます。



## 玖珠町と包括連携協定



2021年2月、8例目となる玖珠町との包括連携協定を結びました。コープおおいたは、地域社会の一員として、多様化する暮らしの変化に対応するとともに、地域が抱えるさまざまな課題の解消と持続可能な地域社会をめざし、行政や各自治体と包括連携協定の締結をすすめています。これまでに、大分県、杵築市、臼杵市、豊後大野市、日田市、大分市、日出町、玖珠町と締結しています。



## 地域のイベントで交流



地域の自治体や友好団体・取引先などが主催するイベントへの出展・協賛をとおして、生協活動や「コープSDGs行動宣言」のPRを積極的に行っています。従業員と組合員理事、組合員スタッフやサポーターなどと協力し、交流の場を広げています。



## 避難訓練



福祉事業所周辺地域の方や小学校の児童と一緒に避難訓練を実施しました。地域の方々と災害時に備えて、訓練を重ね、安心して住み続けられるまちづくりをめざします。



## 姫花ちゃんのハンカチ



東日本大震災で亡くなった当時10歳の鈴木姫花ちゃんが震災2年前に描いた絵(塩屋埼灯台)がハンカチになりました。震災・福島を忘れない取り組みとして、宅配での注文を受け付け、190万円を超える売り上げにつながりました。収益は全額、製造元を通じて災害遺児義援金としていわき市に寄付されます。

### Check

## 組合員と取り組む募金活動



### 2020年度各種募金状況

- ユニセフ募金……………1,656,092円
- ふくしまっ子応援プロジェクト募金……………3,700円
- 平和活動募金……………6,504円
- ハンガー・フリー・ワールド支援募金……………2,071,669円

### Check

## 福島復興支援金



宅配では、カタログ注文による募金と年2回実施する復興支援企画の売り上げの10%、店舗では店頭募金と毎月11日を「ふくしまの日」として、売り上げの1%を支援金として積み立て、毎年寄付しています。

- 2020年度に集まった支援金……………3,473,654円
- 2011～2019年度累計……………30,527,137円



デイサービスセンターからふくしまのみなさまへ





## 環境基金

コープおおいた本部事務所から排出される古紙などや各店舗のリサイクル食品トレー・有料レジ袋の益金を「環境基金」として積み立て、環境活動や助成事業に取り組んでいます。



### 大分県地域環境保全基金寄付金

大分県と締結している「レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」にもとづき、有料レジ袋で得られた益金の一部を、環境保全の取り組みに役立ててもらう目的で大分県へ毎年お贈りしています。



### 絵本の贈呈式

環境基金の一部を使用し、県内の幼稚園や保育園へ環境をテーマにした絵本を贈呈しています。モノを大切にすることをはぐくむ環境教育の充実のために取り組んでいます。

## 牛乳パックとコアノンロールの交換会

エリアで広がりを見せる牛乳パック交換会は牛乳パック10枚をトイレットペーパー1ロールと交換しています。定期的な開催を希望される組合員も多く、リサイクルの大切さを身近に感じられる企画です。



### Close up!

## 九州で循環!『コアノンロール』ができるまで。

組合員の声から生まれた『コアノンロール』。無駄になる芯がないため環境にやさしいだけではなく、組合員から集まった牛乳パックや宅配カタログを地元九州の製紙工場で再資源化して製造されています。組合員の力を合わせて貴重な資源を循環させる、コープならではの商品です。



組合員から集まった牛乳パックや宅配カタログは大分製紙株式会社の豊前工場に運ばれます。



他の原料と一緒に水に溶かし、繊維とインクに分離させます。



取り出した白い繊維を紙にしてロールに巻き付けながら乾燥させ、大きなトイレットペーパーに。



鉄のシャフトに紙をまきつけてコアノンロールにしていきます。中心をギザギザにすることで、長いロールをカットするときにつぶれにくくなっています。



✧ 包装してできあがり! ✧

## 資源回収の取り組み

「一人ひとりの一歩は小さいけれど、みんなの力を合わせれば大きくなる」を合言葉に、2020年度も多くの組合員からコープおおいたのさまざまな環境活動にご協力いただきました。

### 2020年度 回収量の報告

#### 古紙類(牛乳パックやカタログ等)

約**92万4,048kg**

前年比**101.7%**

回収量の7割がトイレットペーパーやティッシュの実質の原料となります。コアノンロール130m(S)1個276gで換算。約234万3,600ロール分が再生されています。

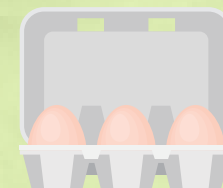


#### タマゴパックの回収量(宅配・店舗)

約**5,295kg**(約26万4,750パック)

前年比**119.3%**

タマゴパックは、古紙や木屑と一緒にリサイクルされてRFPという固形燃料に再生されます。RFPはさまざまな工場でボイラー燃料として利用されています。



#### プラスチックトレーの回収量(店舗のみ)

約**2,963kg**(約59万2,600枚)

前年比**111.1%**

枚数は1枚平均5gとして換算。回収されたトレーは、一旦溶かされてエコトレーになります。店舗に入っている一部のトレーはリサイクルされたエコトレーです。



#### マイバッグ持参数

**382万6,768人**

前年比**91.9%**

マイバッグ持参率89.1%  
前年より1.0%アップ。  
レジ袋1枚に原油10ml(原油+製造エネルギー用)が使用されています。



#### ペットボトルキャップの回収量

約**2,613kg**  
(約104万5,200個)

前年比**119.2%**

回収されたペットボトルキャップは、回収業者を通じてプラスチックのリサイクル原料として再生され、トレーや園芸用品になります。

※イラストはイメージです。



#### 集品袋・カタログセット袋の回収量

約**6,321kg**  
(210万7,000枚)

前年比**94.7%**

1枚平均3g(333枚/1kg)として換算。リサイクルポリ袋として再生されています。



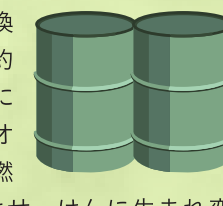
#### 廃油の回収量(店舗のみ)

約**3万9,993ℓ**

前年比**100.7%**

ドラム缶に換算すると、約199本分に相当。バイオディーゼル燃料や一部はせっけんに生まれ変わっています。

※コープおおいたでは燃料として使用せず、廃油の回収のみ行っています。





# History

## コープおおいたと地域の歩み



1952年

5坪の店舗から  
はじまった  
コープおおいた



1965年

組合員の  
声から  
生まれた  
コープみそ



1986年

地域の公民館で  
出張販売



1988年

牛乳パック  
回収活動を開始



1999年

宅配の  
個人配達を開始

2011年

弁当宅配・  
移動店舗販売を開始



2017年

店舗無料送迎  
お買い物サポートカーを  
開始



2019年

CO・OPふらいる  
リニューアルオープン

1952年

2019年

組合員数(人)

## 1年間のできごと

2020年6月  
田中南保育園地鎮祭



2020年8月  
サービス付き高齢者向け住宅  
「彩(いろどり)白杵」開所



2020年11月  
あまがせ交流会



[2020年4月-2021年3月の組合員数推移]

2020年7月  
清川体験農場 収穫



2020年7月  
令和2年7月豪雨  
災害支援



2020年8月  
料理教室



オンライン

2020年12月  
クリスマスパーティー



オンライン

2020年12月  
令和2年7月豪雨  
義援金贈呈式



2021年2月  
玖珠町と包括連携協定



2021年3月  
ウォークラリー



2021年3月  
災害ボランティア研修



2020年

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2021年

1

2

3

組合員数(人)